

# 学校司書おすすめの本 読書の旅へでかけよう!



『いい人すぎるよ図鑑』  
明円 卓, 佐々木日菜, 真子千絵美/著  
PHP 研究所 049

2023年開催の「いい人すぎるよ展」から生まれた図鑑。あなたのことも載っているかも。クスツと笑えるけど、優しさでいっぱい1冊。



『僕たちはまだ、総理大臣のことを何も知らない。』  
長谷部京子/著・監修  
木平木綿/構成  
Gakken 312

総理大臣の仕事や生活の紹介、現職政治家である石破氏や枝野氏へのインタビュー。政治家が何を考え、どのように活動するのがわかる。



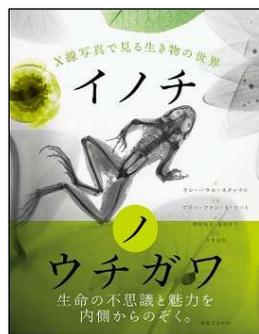
『ボーダー 移民と難民』  
佐々涼子/著  
集英社インターナショナル 329

著者は、鎖国のような日本の入管制度に問題をなげかける。国に送還されたら死ぬしかないと申し続ける難民申請者・関わってきた弁護士・支援者は、すべて実在する人物達である。



『チョコレートを食べたことがないカカオ農園の子どもにきみはチョコレートをあげるか?』  
木下理仁/著 旬報社 338

あなたならどうする? 確かな答えがない問いをとわれたとき、自分のフィルター越しでしか世界を見ていないことに気づく。あなたの“当たり前”を壊そう。



『イノチノウチガワ』  
X線写真で見る生き物の世界  
ヤン・パウル・スクッテン/文  
アリー・ファン・ト・リート/写真  
野坂悦子, 葉袋洋子/訳  
今泉忠明/監修 実業之日本社 480

網目のようなエイの軟骨やふわふわの毛に隠されたマルハナバチの細い腰など、骨格が教えてくれる生き物のひみつと美しさを楽しもう。



『月に移住!? 宇宙開発物語』  
縣 秀彦/監修  
荒船良孝/文  
講談社 538

人類の宇宙開発の歴史や技術をイラスト・写真を使ってわかりやすく紹介。宇宙のひみつや不思議を楽しく知ることができる。人類が宇宙に住む未来は近い!?



『MINIATURE TRIP IN JAPAN』  
田中達也/著 小学館 748

メロンパンの東京ドーム、ストローの竹林、スマホの月見……。身近な物にミニチュアの人形をおけば、あーら不思議! 日本の名所や文化に早変わり。田中達也の見立ての NIPPONへGO!!



『なんでもない一日の辞典』  
山口諤司/著  
水元さきの/illustration  
WAVE 出版 814

「ヤバイ」だけであなたの気持ちは伝わるのかな? なんでもない一日でもあなたは何かを感じたはず。その気持ちを表すぴったりの「言葉」と出合えたら毎日がもっとすてきになるかも。



『透明なルール』  
佐藤いつ子/著  
KADOKAWA 913

周囲に合わせようとばかりしてしまう優希。クラスメートの意外な一面を知り、思い込みや同調圧力という、透明なルールで自分を縛っていることに気づいて……。



『学校に行かない僕の学校』  
尾崎英子/作  
ポプラ社 913

14歳の夏、僕は親から離れて近くに森と川がある寮つきのフリースクールに行くことにした。そこで出会った人たちとの自然の中での暮らしは、少しずつ僕らの心を和らげ、それぞれの事情や想いを話せるようになってくれた。



『彼女が生きてる世界線！』  
In a Storyline Where She Lives』  
中田永一/著 ポプラ社 913

28歳のサラリーマンが、大好きだったアニメの世界で、大金持ちの12歳に転生!!白血病で死ぬ運命のヒロインのストーリーを変えようと、新たな世界線を探す。



『アナタノキモチ』  
安田夏菜/著  
文研出版 913

自閉症のハルくんは、人の気持ちを察するのが苦手。でも、それってハルくんだけ？ 家族や友達との心のすれ違いを、いとこの少女と祖父それぞれの視点から描く。



『焔夜祭』  
多崎 礼/著  
中央公論新社 913

生き物も住めない死の海に囲まれた島々で、年に一度冬至の日「語り部」たちは物語を語る。夜が明けるにつれて、恐ろしく美しい物語はさらに闇へと落ちていく。



『出てこい、写楽！』  
～髷重編集日記～』  
楠木誠一郎/作 平沢下戸/絵  
静山社 913

江戸時代のヒットメーカー髷屋重三郎。ひきこもりの写楽のため、十返舎一九、葛飾北斎、喜多川歌麿らスター達を版元「耕書堂」に集めチーム結成。新作を売り出そう！



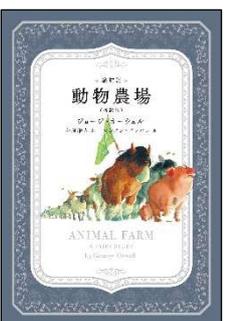
『ペイント』  
イ・ヒヨン/著 小山内園子/訳  
イースト・プレス 929

少子化が進み、国が子どもを育てることになった近未来の韓国。施設の子どもは自分で親を選ぶことができるが、主人公のジェヌは決められずにいた。家族とは、親とは、その存在を考える。



『闇に願いを』  
クリスティーナ・スントーンヴァット/著  
こだまともこ、辻村万実/訳  
静山社 933

少年ポンが刑務所にいる理由はただ一つ、刑務所で生まれたから。ある日、ポンは街の光を求めて脱走する。光り輝いてみえた街は、総督の不思議な力が創り出した闇の世界だった。



『絵物語 動物農場 新訳版』  
ジョージ・オーウェル/著  
金原瑞人/訳  
カンタン・グレバン/画  
パイインターナショナル 933

農場で虐げられた動物たちは、人間たちを追い払うため革命を起こす。「すべての動物は平等に」をスローガンに新たな世界を創っていくのだが……。



『WHITE BIRD ホワイトバード』  
R・J・パラシオ/原作  
エリカ・S・パール/ノベライズ  
中井はるの/訳 ほるぷ出版 933

サラは孫に、フランスでの少女時代の戦争体験を話す。ナチスから逃れ、かくまってくれたジュリアンの家族との日々と彼への恋心。哀しい終戦からその後のあたたかい物語へと続いてゆく。